

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人出塚助衛の上告趣意は、憲法違反を主張するけれども被告人Aの自白についてはBの供述調書等の補強証拠があるから理由がない。その他は事実誤認の主張であつて上告適法の理由に当たらない。また記録を精査しても刑訴四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四〇八条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二七年五月一日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	真	野	毅
裁判官	沢	田	竹 治 郎
裁判官	斎	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎